

# BRIDGE

Issue 014  
The Intersection of Nihonbashi Hamacho

## Section 01

### 江戸から令和まで。浜町歴史探訪

Text\_Tomoko Hori



提供：京橋図書館

Section 01  
江戸から令和まで。浜町歴史探訪

Section 02  
地元企業と考える浜町の未来

Section 03  
オフィスに潜入！  
建設技術研究所レポート

Section 04  
新着情報

隅田川沿い、日本橋エリアの一角に位置する、日本橋浜町。下町風情が微かに残る趣深い街並みに、最近では暮らしを彩る新たなカルチャースポットが続々と生まれています。

「BRIDGE」は、そんな浜町の魅力や変化を、まちの中の人に、まちの外の人に、発信していく地域密着メディアです。

住民と住民を。ワーカーとワーカーを。伝統と新風を。この小冊子が繋ぎ合わせる“橋”となり、浜町にさらなるシーンとワクワクを誘います。



提供：京橋図書館

Supervised by 一般社団法人日本橋浜町エリアマネジメント  
Edited by goodmornings Co.,Ltd  
Design by Form inc.  
Date of Issue 2021\_9\_30

Supported by  
安田不動産 明成建設  
明成建設技術研究所

## 浜町の歴史を振り返ろう

江戸時代から歴史を刻み続けている浜町。ときには武士が暮らし、ときには芸妓が闊歩し、役者や作家にも愛された魅力あふれる街。今回はそんな浜町の歴史探訪。どんな歩みを辿ってきたかを知れば、さらに街への親しみが湧いてくるはず。ここでは、江戸から令和までの浜町の歴史をまとめてみました。

### HAMACHO HISTORY 江戸～明治時代 (16世紀～19世紀)



提供：国立国会図書館ウェブサイト

POINT 当時は、侍から民の時代への変換期。このあたりの敷地を占めていたのも、新政府設立の一翼を担った「薩長土肥」の旧藩主たち。中でも広大な敷地を占めていたとされるのが、肥後熊本藩の最後の藩主である細川護久(15,795坪)。次いで、島津忠義(13,794坪)、井上馨(11,303坪)等が主な地主であったと記録されています。

### HAMACHO HISTORY 大正時代 (20世紀初頭)



提供：京橋図書館

POINT 明治維新を機に江戸にやってきた薩長政府は、欧米諸国に追いつこうと「富国強兵」を掲げ経済の発展を目指しました。そんな中で発生したのが関東大震災。絶望的な状況の中で目覚ましい活躍をしたのが、久松義孝の職員。新大橋の群で多数の避難民の救護にあたったとされており、浜町の歴史を記した書物の中には彼らの美談がいくつも残されています。

## 武士に芸妓、役者まで。浜町に縁のある歴史上の人物

時代とともに変化を遂げてきた浜町は、多くの偉人たちに親しまれてきた街でもありました。この街とどのように関わり、どんな生涯を辿ってきたのか。ここでほんの少し、偉人たちの人生を覗いてみましょう。

### PERSON 01 井上馨 (1836～1915)

長州藩士として、高杉晋作らとともに、幕末の尊王攘夷運動に参加。維新後は参与、大蔵大輔、参議兼工部卿、外務卿などを歴任。実業界とも深いつながりを持ち、鉄道事業などにも関わる。第1次伊藤内閣の外相として欧化政策を展開し、不平等条約の改正に奔走。農商務相、内務相、蔵相等を歴任し、引退後も元老として国政に関与。明治維新後、民間に払い下げられた浜町の武家地の最初の所有者とも言われ、蛸殻町と浜町を繋ぐ蠣浜橋の建設に尽力。

提供：国立国会図書館ウェブサイト



### PERSON 02 川上貞奴 (1871～1946)

芸妓の花街として、明治・昭和中期まで大いに賑わっていた浜町界隈。その中で、もっとも人気を集めた芸妓として知られるのが川上貞奴。芳町(現・人形町)の芸妓置屋「浜田屋」の養女として育ち、芸妓に、時の総理大臣伊藤博文も轟然とするほどの人気ぶりだったとか。興行師で新派劇の父と呼ばれる川上音二郎と結婚し、女優として欧米興行へ、日本初の女優として国内外で一世を風靡。大正6年(1917年)、浜町の明治座にて引退興行を行う。

提供：国立国会図書館ウェブサイト



### HAMACHO HISTORY 昭和時代(前期) (20世紀中頃)



提供：京橋図書館

POINT 昭和25年(1930年)5月に復興事業が完了してから現在まで90年以上の歳月が過ぎました。その間に、東京大空襲とその復興、高度成長期に重なったオリンピック東京大会の準備とそれに伴う道路の建設によって、都心部は大変化したと言われています。しかし実際には、道路や橋梁はじめ、都市の骨組みにあたる部分は、この事業以来ほとんど変わっていないようです。

### HAMACHO HISTORY 昭和後期～平成～令和時代 (20世紀後半～21世紀)



提供：国立国会図書館ウェブサイト

POINT 昭和51年(1976年)、浜町を揺るがすニュースが…！都営新宿線の掘削工事中に、生き物の化石を発見。その後の調査でナウマンゾウと判明し、最終的に3頭の化石が発見されました。同一個体で頭蓋、体幹、四肢の全体骨格が発見されたのは初めてのことで、学術的にも非常に重要な発見でした。「浜町橋本」と名付けられたこの化石は現在、八王子市に保管されています。

関東大震災からの復興事業が完了し、現在の碁盤割りの街並みが完成した浜町。昭和4年(1929年)に熊本の大名細川家の屋敷跡に浜町公園が開園しました。その竣工を記念して誕生したのが浜町音頭。新しい浜町の親睦と景気づけに盆踊りで歌い踊られました。ところがそれから16年後の昭和20年(1945年)の東京大空襲で浜町はふたたび焦土と化すことに。戦後間もない昭和24年(1949年)には、空襲で焼失した両国国技館の代わりに浜町公園内に仮設国技館が建てられ、本場所が行われたのです。

昭和期の高度経済成長とともに街も一変。昭和46年(1971年)の首都高開通と同時に箱崎川や浜町川が埋め立てられ、科学は減り、次々とマンションが建つように。時代が平成に移ると、オフィス・住居・商業が一体化した複合施設が誕生。令和となった現在は、江戸の下町らしい面影は残しつつ、新しいスポーツやカルチャーが続々と生まれる街として、発展を遂げています。

## 現代に遺る浜町界隈の歴史を感じられるスポット

近年、発展を続ける浜町界隈ですが、実は街のいたるところに歴史を感じられるスポットが点在しています。江戸、明治、大正、昭和と重ねてきた時間を想像しながら、街めぐりを楽しんでみるのはいかがでしょうか？

### SPOT 浜町川緑道



BEFORE 昭和24(1949)年撮影



AFTER

桜並木でもおなじみの浜町川緑道。浜町と人形町の境にあたるこの場所には、昭和47年(1972年)に埋め立てられるまで浜町川が流れていました。緑道内にはこのエリアが歌舞伎発祥の地であることを表す勸進帳の弁慶像や、漢方医学復興の地であることを示す碑が置かれています。

Access 浜町川緑道 中央区日本橋浜町2丁目

### SPOT 新大橋



BEFORE 昭和32(1957)年8月撮影



AFTER

最初に新大橋が架橋されたのは元禄6年12月(1693年1月)。歌川広重が『名所江戸百景』で新大橋を描いた「大はしあたけの夕立」はゴッホが模写したことで有名。関東大震災の際、焼け落ちることがなく多くの人命を救ったことから「人助け橋(お助け橋)」と呼ばれていて、橋の側には「震災記念避難碑」も建てられています。

Access 新大橋 江東区新大橋(※震災記念避難碑は浜町2丁目に所在)

### SPOT 浜町公園



BEFORE 昭和56(1980)年撮影

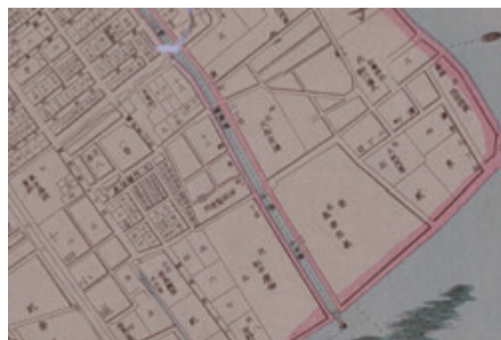


AFTER

関東大震災によって壊滅的な被害を受けた東京の復興事業の一環として昭和4年(1929年)に開園した浜町公園。公園になる前は熊本藩主・細川家の邸宅がありました。当時の面影を残すのが加藤清正を祀る清正公寺。万延2年(1861年)に熊本藩主・細川斉護によって建てられ、今も公園内に行んでいます。

Access 浜町公園 中央区日本橋浜町2-59-1

### SPOT 常盤会 一久松邸跡一



BEFORE 明治9年(1976年)撮影



AFTER

明治時代、浜町2丁目に屋敷を構えていた松山藩主久松家によって、明治16年(1883年)に設立されたのが、旧藩士子弟たちの学士援助組織「常盤会」。育成助成金の初代給費生の中には、俳人の正岡子規も。東京で勉学を志す旧藩士子弟たちの心強い後援者となったのです。

Access 常盤会 一久松邸跡一 中央区日本橋浜町2丁目1番地付近(新大橋通り沿い)

## みんなが住みやすい街を目指して。 建設技術研究所が描く“これからの浜町”

私たちが暮らし、働く、浜町をより魅力的なまちにするのに必要不可欠なのが、理想のまちづくりに向けて、強力な助っ人となる地元企業の存在です。その中の一社が今回ご紹介する(株)建設技術研究所。日本で最初の建設コンサルタントとして、さまざまな国家、行政プロジェクトに関わってきた業界では名の知れた一流企業です。一方、地元では“建技さん”と呼ばれ、社員の皆さんもフレンドリー。そんな“建技(けんぎ)さん”が浜町の近未来をまじめに妄想してくださいました。



建技さんが妄想する未来の清洲橋通り。公園のように人がのびのびと過ごせる空間に。

### 株式会社建設技術研究所

日本で最初の建設コンサルタント会社。「人を想い社会を創る」という想いのもと、人々の暮らしに想いを馳せ、技術の力で持続可能な社会づくりに貢献することを使命としている。河川や道路の他、インフラ全般の整備や維持管理など、手がける事業は多岐にわたり、行政のパートナーとして社会を支えている。

—御社は50年以上前から日本橋エリアに本社を構えているそうですね。

1969年に日本橋小網町に本社を移転し、日本橋本町を経て、2005年に浜町へやってきました。日本橋界隈は江戸の中心地として栄え、その長い歴史の中で育まれた明るく豊かな空気感が何よりの魅力。清潔な街並み、小ざっぱりした人々の身なり、快活な気質、隣人を気遣う心など、知性と大らかさを人からも街そのものからも感じます。そんな“古き良き江戸らしさ”をより実感できるのが、ここ日本橋浜町だと思います。



未来のトルナーレ緑道は多様な人が集う賑わいの場。

—浜町の魅力はどんなところに感じますか？

隅田川を有する自然環境、基盤の目に整備された道路、交通アクセスのよさなど、まちとしてのポテンシャルが非常に高い。一方、中に入ってみると、人と人とのつながりを強くする仕掛けがしっかりと出ていること

が分かります。神田祭や盆踊りなど、伝統的な行事がきちんと継承されているのはもちろん、日本橋浜町エリアマネジメントさんが中心となって、住む人、働く人、他から来た人すべてを巻き込む、新たな取り組みもなされています。例えば、トルナーレで行われている浜町マルシェや特設駐輪場を設ける社会実験もそう。空間を有効活用してさらに魅力あるまちづくりを目指している姿勢が見て取れます。

—トルナーレ緑道をはじめ、公共空間を利用したまちづくりには御社も深く関わっていると伺いました。

まちづくり事業を担う都市部が中心となり、日本橋浜町エリアマネジメントとともに今後のトルナーレ緑道の在り方について検討しています。あの場所は人の通りも多く、いわば街のランドマーク。住民、ワーカー、来街者と多様な人が集うにぎわいの場にできたらというのが私たちの思いです。その実現に向け、現在中央区と協議を進めています。

—浜町の将来に貴社の技術を生かすとするなら、どんなことが考えられますか？

脱炭素社会の実現やデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進によって、2040年には道路の景色が一変すると言われてます。弊社が培ってきたさまざまなインフラソリュー

ション技術やIT技術を活かせば、浜町も新時代にふさわしいまちに進化させることが可能です。例えば、清洲橋通りを今のように自動車がビュンビュン走る道路ではなく、まるで公園のように人がのびのびと過ごせる歩車共存の空間に変えることも。ガソリン車に代わって、電気自動車や燃料電池自動車、公共交通や自転車を中心とした低炭素な交通システムを確立することで、道路を地球に優しい空間へと変化させるのです。

—自動車ではなく、人が主役の道路に変わるんですね！しかも20年後に実現するだなんて驚きです。

人々の移動手段は、自動運転サービスの普及によって、便利に安心して利用できるモビリティがメインになると思います。小型のモビリティをレンタルできるステーションをまちに設ければ、マイカーを持たずに済みます。自動運転サービスを利用すれば、飲食店やスーパーが顧客の求めに応じて移動し、道路で営業といったことも可能に。デジタル技術をフル活用することで道路を進化させ、移動の効率性、安全性、環境負荷といった社会的課題も解決することができるんです。考えてみれば、道路は古来から子どもが遊び、井戸端会議を行うなど人々の交流の場でした。そうしたコミュニケーション空間としての道路の役割を復活させることにもなりますよね。私たちは、“進化”と“帰帰”に視点を置いた次世代の道路政策がここ浜町なら叶うと考えているんです。



モビリティが普及することで移動も効率的に

—人にも地球にも優しく、便利で賑わいのあるまち。そんな将来の浜町が楽しみです。

これから道路の景色が一気に変わるという話しをさせて頂きましたが、実はもうひとつ、変えてみたいと思っていることがあるんです。それは、昭和47年まで流れていた浜町川の復活です。現在の浜町川緑道の公園、緑地機能を踏まえつつ、さらに水辺の親水機能を加えることで、浜町、人形町エリアの新たな交流拠点になるのではと。そんな妄想がどんどん膨らむのもここ浜町だからこそですよ。私たちの“浜町 LOVE”な思いを魅力あるまちづくりに生かせたらこんなに嬉しいことはありません。これから、素敵な未来と一緒に作っていきましょう！



浜町川が復活することで賑やかな交流拠点に

<取材協力>  
常務執行役員技術本部長 前田 信幸さん  
東京本社 都市部部長 桂 謙吾さん  
東京本社 都市部 PFI・PPP 室長 長南 政宏さん  
管理本部広報室室長 倉田 穂造さん

CTI 株式会社 建設技術研究所 www.ctie.co.jp/  
中央区日本橋浜町 3-21-1 日本橋浜町 Fタワー

## 国の事業から浜町の清掃活動まで。幅広い建設コンサルタントの仕事

公園のような清洲橋通り、自動運転サービスの普及、浜町川の復活と、浜町で実現しうる未来をたっぷり語ってくれた建技さん。ここでは、国の事業を中心に、幅広いプロジェクトに携わる建技さんの仕事についてご紹介。浜町3丁目にあるオフィスにもお邪魔してきました。

### 01 創業76年！ 日本初の建設コンサルタント

(株)建設技術研究所は、1945年に前身である財団法人建設技術研究所が創立されて以来、行政のパートナーとして国土づくりを支えてきた一流企業。本社は日本橋浜町Fタワー内にあり、1,150名が働いています。(2021年7月時点)

### 02 安全で潤いのある社会をつくる仕事

76年前、電力確保のためのダム建設からはじまった建設技術研究所の仕事は、河川や海岸の調査・管理、道路や橋梁の計画・設計、災害地支援、まちづくりなど今では多岐にわたります。全ての仕事に共通しているのが、安全で潤いのある豊かな社会作りにつながっていること。例えば、“渋滞を解決するために交通量の調査をして道路の計画を提案する”のも建設コンサルタントの仕事。行政のパートナーと聞くと一見難しく捉えてしまいがちですが、実は私たちの暮らしに密接に関係しているのです。

#### 建設技術研究所が関わったプロジェクト

##### 一 荒川の治水計画

埼玉県と東京都を流れて東京湾に至る荒川。普段は自然豊かで穏やかな川ですが、昔は度々洪水被害が発生していたそう。建設技術研究所は国土交通省の委託に基づき、洪水防御計画の立案に参画。氾濫が発生しないよう、流域内にはダムや調節池が整備されています。

##### 一 銚子大橋の補修

千葉県と茨城県を結ぶ銚子大橋。1962年に建設されて以降、補修・補強を繰り返し50年近く使われてきましたが、老朽化により架け替えが決定。その計画や設計を担ったのも、建設技術研究所でした。今では基幹道路として地域経済に大きく寄与するだけでなく、地域のランドマークとして多くの方に親しまれています。

#### まとめ

「建技さんは賢く真面目で、それでいてチャレンジング！より良い社会を目指し、新しいことにどんどん挑戦されています。何より、皆さん口を揃えて、「この街が好き」と話してくれるのが印象的でした。社員の方と交流する機会があれば、本誌の感想を伝えるとともに、この街について語り合っていたらと嬉しいです。(BRIDGE編集部)」

#### CTI PHOTO GALLERY



オフィスロビー。会社の歴史などパネルが設置されている。



広々としたオフィス。現在は社員の約半分がリモートワーク。



取材にご協力いただいた社員の皆さん

### 令和千本桜～義経と弁慶／ コロッケものまねオンステージ2021

2021年10月9日(土)～21日(木)  
開演時間:12:00/16:30



舞台は平安時代末期、義経と弁慶の五条大橋での運命的な出会いから、その終焉までを描く歴史スペクタクル。そして鉄板ネオ満載の豪華ものまねオンステージ。芸能生活40周年を迎えたコロッケと、元宝塚歌劇団男役スター・七海ひろきがお贈りする究極のエンターテインメント！  
出演：コロッケ 七海ひろき 他  
料金(税込)：  
S席(1・2階席)12,500円 A席(3階席)6,500円

明治座  
東京都中央区日本橋浜町 2-31-1  
☎03-3666-6666(明治座チケットセンター)  
営業時間 10:00～17:00  
https://www.meijiza.co.jp/

### 第69回 中央区観光商業まつり

2021年10月1日(金)～11月7日(日)



区内の商店街、百貨店等が一体となり、区内各所で様々なイベントが行われる「中央区観光商業まつり」。オープニングイベントでは、事前にご応募いただいた方の中から抽選で1,000名に商店街の逸品をプレゼント。詳細・お申し込みは公式ホームページをご確認ください。応募締切：2021年10月15日(金)23:59まで  
発送時期：11月上旬以降

中央区観光商業まつり実行委員会  
中央区築地 1-1-1(中央区役所商工観光課内)  
☎03-3546-5328/03-3546-5329  
https://chuocity-tourismmandmarketfair.jp/

※各種イベントは新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、内容の変更、場合によっては中止となる場合がございます。最新の情報は、各公式ホームページをご覧ください。主催者までお問い合わせください。

### 03 大切にしている 日本橋・浜町エリアへの貢献活動

行政のパートナーとして、日本の土木を支えてきた建設技術研究所。一方で力を入れてきたのが、本社のある日本橋・浜町エリアへの貢献活動。2002年に設立された研究開発組織「国土文化研究所」では、「こころの豊かさを醸成する空間の創出」を目的に、様々な取り組みを実施しています。

#### 一 江戸東京・川のなぜなぜ舟めぐり



「江戸の美意識」をメインテーマに「EDO ART EXPO」を主催するNPO法人東京中央ネットと共催している特別クルーズ。建設技術研究所のシビルエンジニア(土木技術者)が参加者へのナビゲーター役を務めています。近い将来VR(バーチャル・リアリティ)でも川巡り体験を楽しめるよう、現在準備を進めているとのこと。

#### 一 浜町きれいプロジェクトへの参加



浜町のまちづくり組織「(一社)日本橋浜町エリアマネジメント」の会員であることから、まちづくり事業を担う都市部の方を中心に「浜町きれいプロジェクト」にも積極的に参加しています。2ヶ月に1回、浜町界隈でゴミ拾いを中心とした清掃活動を行って、社員同士はもちろん、地域住民とのコミュニケーションの場にもなっているそうです。

### 美味しいパーティーのはじまり ハロウィンアフタヌーンティー

期間:2021年10月1日(金)～10月31日(日)  
提供時間:11:00～17:00



チョコレート細工のフロウガがゴシックチェアでお出迎え！ハロウィンモチーフで美味しく彩った、遊び心いっぱいのスイーツとセイボリーのパーティーをお楽しみください。  
料金:¥4,840(税金・サービス料込み)  
※写真は2名様分

ロイヤルパークホテル ロビーラウンジ フォンテーヌ  
中央区日本橋筋般町 2-1-1  
☎03-5641-3600  
(レストラン予約専用ダイヤル 9:00～18:00)

### みんなでつこう安心の街 全国地域安全運動

2021年10月11日(月)～20日(水)

警察では毎年10月11日～20日までの10日間、「全国地域安全運動」を実施しています。この機会に住民の皆さんも安全意識・防犯意識を高めていきましょう。お年寄り世代を中心に特に注意してほしいのが「遺付金詐欺」です。「医療費や保険料が戻る」と言われても対応してはいけません。詐欺被害を他人事だと思わず、しっかり対策をしましょう。犯罪発生情報や防犯情報は、「メールけいしちょう」をご確認ください。

久松警察署防犯係 ☎03-3661-0110  
メールけいしちょう  
https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/about\_mpd/joho/mail\_info.html

BRIDGEのお問合せ先は、HAMACHO.JP WEB サイトまで。その他、浜町をもっと知ってもっと楽しめるコンテンツも盛りだくさん。

